山代町塩生植物の様子

○ 山代町に生息する塩生植物（海岸や塩湿地帯など塩分に富んだ地区に生育する植物）は、絶滅が心配されていて貴重なものとなっており、保護活動が展開されている。第 4 学年「四季の移り変わり」などで活用できます。

塩生植物画像	植物の説明
	和名：ハマサジ　イソマツ科　越年草 海岸に生えるイソマツ科の 2 年草、へら状の長楕円形の葉が群生。枝分かれした花茎の先に多数の小穂をつける。
	和名：ハママツナ　アカザ科　一年草 塩湿地に生える 1 年草。高さ 20～60cm 枝は広がる。下葉は、花時に枯れてしまい、茎や葉は初め緑色だが、秋に紅葉する。花は秋に咲き、淡緑色である。
	和名：ハマナデシコ　ナデシコ科　多年草 海岸の岸上に生える、葉は厚く卵形、夏ナデシコに似た紫・紅葉の花が咲く。秋の七草の一つとして紹介できる。

＊他にも、ホソバハマアカザ、ハマボウ、ハマユウなどの生育も見ることができる。

山代町「森林資源を有効活用するバイオマス発電所（伊万里）」

○　第 6 学年「電気の性質とその利用（つくる電気・身の回りの電気の利用）」で活用できます。

	・環境のことを考え、工場の製材・乾燥加工工程で発生する副産物を発電設備付ボイラーの燃料として活用し、木材乾燥に必要な蒸気と操業に必要な電気を生みだすバイオマス事業。 工場から発生する様々な木の副産物や山林に放置されている未利用材をバイオマス燃料として有効利用する設備。 ・再生可能エネルギー源（太陽光・風力・水力・地熱・**バイオマス**）として学習に活用できる。 見学をお願いすると、設備（例：ボイラー、蒸気タービン発電機・燃料倉庫など）を見ながら、説明していただくことも可能。

【参考】

〇パンフレット「山代町塩生植物の紹介」　編集：山代町塩生植物保存会　H27 年度作成
〇パンフレット「中国木材バイオマス発電所（伊万里）」　編集：中国木材株式会社（株式会社タクマ）